

谷口屯氏叙勲受章祝賀会

業界発展に尽力を

460人が榮譽称える



460人が参加した祝賀会(上)と花束を受け取る谷口夫妻
＝鹿児島市の城山観光ホテルで

建設(株)代表取締役(会長)の祝賀会が19日、鹿児島市の城山観光ホテルで開かれ、政財界をはじめ、各業界の関係者約460人が出席し、氏の榮譽を称えるとともに今後のさらなる活躍を祈念した。

昨秋の叙勲で旭日小綬章を受章した前県建設業協会の谷口屯氏(丸福建設(株)代表取締役(会長))の祝賀会が19日、鹿児島市の城山観光ホテルで開かれ、政財界をはじめ、各業界の関係者約460人が出席し、氏の榮譽を称えるとともに今後のさらなる活躍を祈念した。

祝賀会では、初めに発起人を代表して川畑俊彦県建設業協会会長のこのれまでの功績などを紹介し、「栄えある旭日小綬章を受章されたことは、本人はもとより業界関係者においても誠に喜ばしいことです。今後ますます健康に留意され、業界発展のために一層のご活躍、ご指導をお願い致します」と挨拶。

次いで、加藤憲一県土木部長、溝口宏二県議会議員、赤崎義則鹿児島市長、県出国会議員らが「長年にわたり業界全体の発展向上に多大な貢献をされてきた功績に敬意を表します」「業界の発展のためにますますの『尽力』とそれぞれの立場から祝辞を述べた。引き続き、藤田護県建設業協会副会長、田代藤夫県建設業協同組合連合会会長らが記念品を、谷口氏の孫の谷口卓央君と谷口太一君が花束をそれぞれ贈呈した。

これを受け、谷口氏は「受章は関係各位皆様のご支援あってのことと深く感謝致します。今後この受章を励みに微力ではありますが、業界発展のために尽力してまいります」と謝辞を述べた。

このあと、上東信義県建設業協会副会長の乾杯の音頭で祝宴に移り、思ひ出話に花を咲かせながら和やかに歓談した。

大規模小売店舗立地審議会(会長・宮廻甫九郎鹿児島大学法文学部教授)は19日、鹿児島市の県庁で第23回立地審議会を開き、タイヨー永利店(川内町)の増床・延床など4答申案を承認したほか、ケーズデンキ川内パワフル館(川内市)など14件の届出概要の説明を行った。

大規模小売店舗立地審

ニシムタ大口店等審議



届出概要の説明がなされた審議会
＝鹿児島市の県庁で

た。また、関連のタイヨー「えい店」「新町店」「知覧店」の駐車場台数減少・荷さばき施設増設や増床・延床など残り3件の答申案も特に意見を述べた。また、届出概要の説明では2回目の審議となるケーズデンキ川内パワフル館(川内市・店舗面積3376㎡・新設16年7月)やアミューザ鹿児島(鹿児島市・同2万753㎡・新設16年9月)の新設のほか、新たにスーパーセンターニシムタ大口店(大口市・店舗面積1万551㎡・新設16年11月)など14件(うち4件は新規)の内容を説明した。

質自由化されたのを受けて酒販店(ベリーマッチ)を増床するもので、現状では特に問題はないことを確認し原案通り了承した。

審議会では、宮廻会長を議長に答申案4件と届出概要14件(うち4件は新規)を審議。このうち、答申案で川内市のタイヨー永利店(変更・16年5月・増床等)は、酒税法改正に伴い酒類販売が実

新かごしまの文化拠点に

鹿児島ウォータースタッフ

鹿児島港本港区A街区暫定開発第1回ワークショップ

鹿児島港本港区A街区暫定開発事業を担当する鹿児島ウォータースタッフ(岩元恭一社長)は18日、鹿児島市の山形屋で第1回ワークショップを開き、県民約100人が参加し、鹿児島港の開発に多くの意見や提案、要望などが出された。

同日は、主催者を代表し岩元社長が提案までの経緯について、天文館から桜島を望むことのできる貴重な場所であることについて、観光客が教えていると、中東条社長は「風土を生かし、異文化を取り入れ、新しいかごしまの文化」が息吹、情報発信できる拠点となるため、どのようなハード・ソフトを取り入れるかなどの意見をお願いいたします」と呼び掛けた。

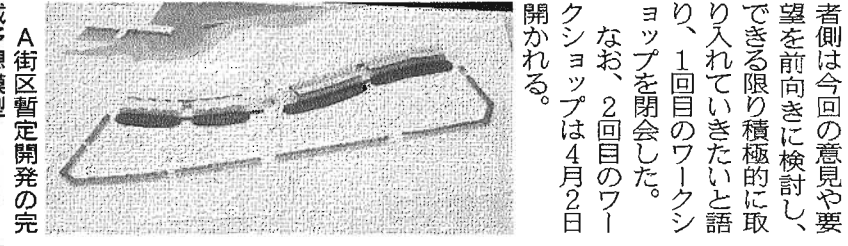
2部(意見交換)では、基本的なコンセプトにのっとり多くの意見が出された。鹿児島市田上の勝目さんは「市電やシャトルバスなど交通のアクセスや、鹿児島のタレントを集めたイベント、若者の雇用、発表の場(ライブ等)を創出し、鹿児島の食文化を使った本物の良さを観光客に提案してほしい」「須賀さんが「かごしま」



多くの意見や提案があったワークショップ＝鹿児島市の山形屋で

鹿児島港の開発に多くの意見や提案、要望などが出された。同日は、主催者を代表し岩元社長が提案までの経緯について、天文館から桜島を望むことのできる貴重な場所であることについて、観光客が教えていると、中東条社長は「風土を生かし、異文化を取り入れ、新しいかごしまの文化」が息吹、情報発信できる拠点となるため、どのようなハード・ソフトを取り入れるかなどの意見をお願いいたします」と呼び掛けた。

2部(意見交換)では、基本的なコンセプトにのっとり多くの意見が出された。鹿児島市田上の勝目さんは「市電やシャトルバスなど交通のアクセスや、鹿児島のタレントを集めたイベント、若者の雇用、発表の場(ライブ等)を創出し、鹿児島の食文化を使った本物の良さを観光客に提案してほしい」「須賀さんが「かごしま」



A街区暫定開発の完了予想図

かごしま異業種交流支援事業実行委員会(有馬純治委員長)は19日、鹿児島市の城山観光ホテルで、研究成果を報告した会合を開いた。



研究成果を報告した会合
＝鹿児島市の城山観光ホテルで

異業種交流支援実行委

SOHO、電子入札で報告

続いて、SOHOビジネス研究会の久永忠範会長(南フォアエバリーニングシステム)と電子入札・納品研究会の倉橋利一会長(㈱インターウエーブ)が研究会の概要、開催状況、今後の課題と提言などをそれぞれ説明。この中で、久永会長は「自分らしさを重んじ、自分のやりたいことを実現するを基本に自分のワークスタイルとライフスタイルを融合させたものがSOHOスタイルで、そのスタイルが人と人、人と企業を結び、一人ひとりの仕事に対する姿勢が前向きになる」と語った。

お手軽で便利な購読料のお支払いは
自動振替で
鹿児島建設新聞
099-227-5100へ